

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和4年11月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 3
- 3. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 大気質 II - 1
- 2. 水質 II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和4年11月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	11月1日～30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	11月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

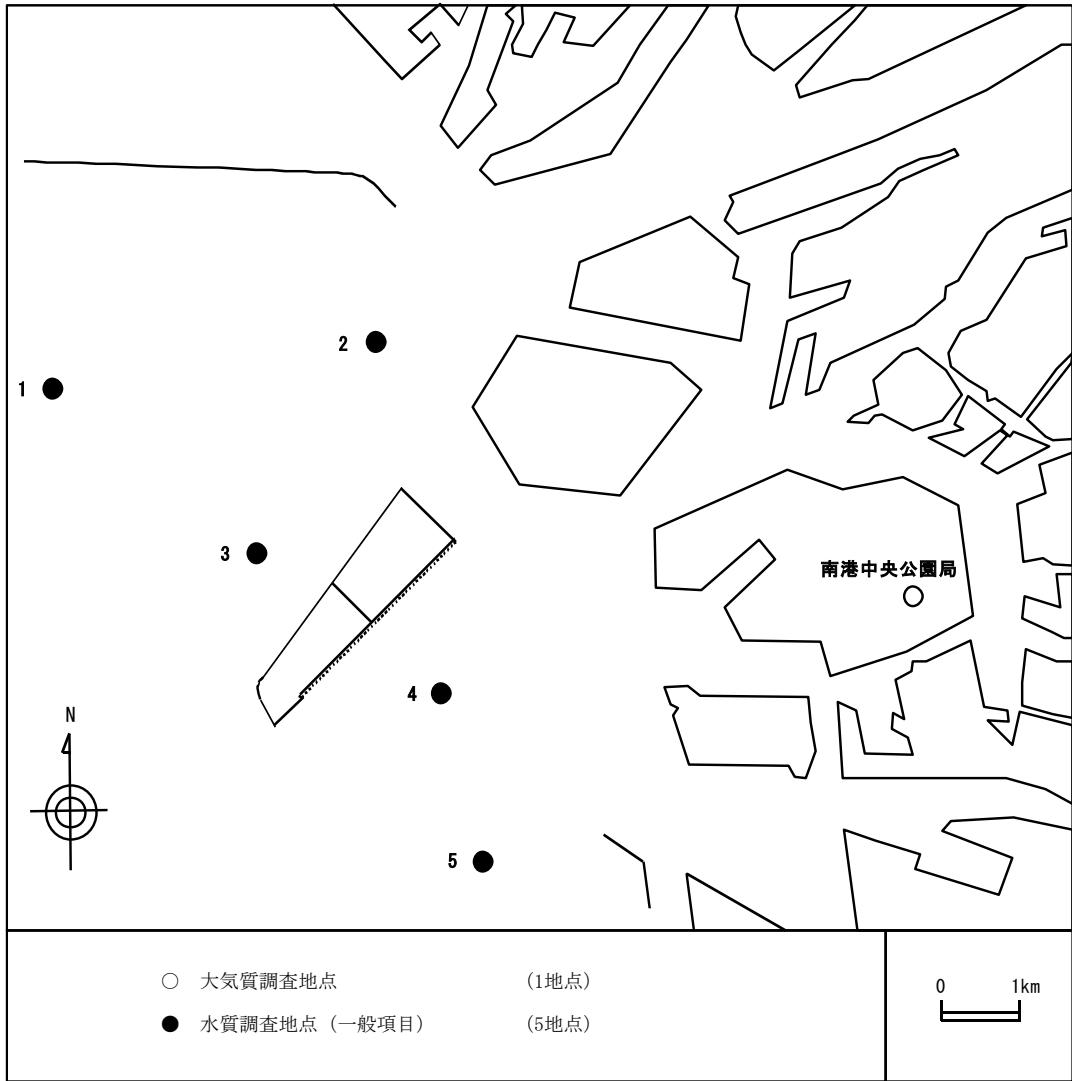
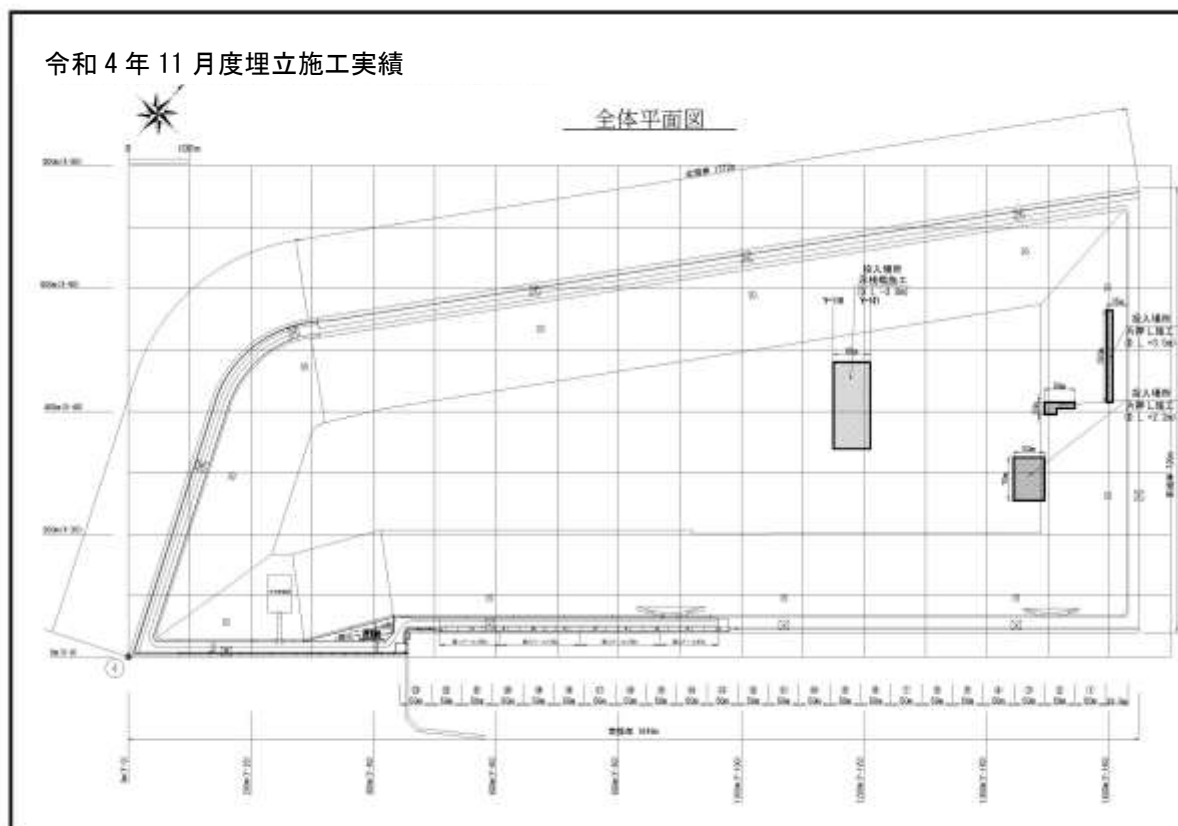


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和4年11月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
6,836,089	48.9%

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は0.005ppm、1時間値の最高値は0.010ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.024ppm であった。また、日平均値の最高値は0.039ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.026mg/m³、1時間値の最高値は0.061mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層、下層ともに 8.1～8.2 であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.0～2.5mg/L、下層で 1.7～2.1mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 6.7～8.1mg/L、下層で 6.0～7.3mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.27～0.44mg/L、下層で 0.19～0.39mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全リン (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全リン (T-P) は上層で 0.039～0.066mg/L、下層で 0.037～0.055mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1(0.066mg/L)、調査地点 2(0.055mg/L)

及び調査地点 4 (0.060mg/L)、下層の調査地点 1 (0.055mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020mg/L~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度(カリン)、下層で 2~5 度(カリン) の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で 3~9mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 0.4~3.5µg/L、下層で 0.5~1.7µg/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全燐（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [令和4年11月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和4年11月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.002	0.003
	2 (水)	0.002	0.003
	3 (木)	0.002	0.003
	4 (金)	0.002	0.003
	5 (土)	0.002	0.004
	6 (日)	0.002	0.002
	7 (月)	0.002	0.003
	8 (火)	0.002	0.004
	9 (水)	0.003	0.004
	10 (木)	0.004	0.006
別	11 (金)	0.004	0.006
	12 (土)	0.003	0.006
	13 (日)	0.002	0.003
	14 (月)	0.002	0.003
	15 (火)	0.003	0.005
	16 (水)	0.002	0.003
	17 (木)	0.003	0.005
	18 (金)	0.003	0.007
	19 (土)	0.003	0.006
	20 (日)	0.002	0.004
値	21 (月)	0.002	0.003
	22 (火)	0.002	0.003
	23 (水)	0.002	0.004
	24 (木)	0.002	0.003
	25 (金)	0.003	0.005
	26 (土)	0.005	0.010
	27 (日)	0.003	0.003
	28 (月)	0.004	0.007
	29 (火)	0.002	0.004
	30 (水)	0.001	0.003
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.005	
1時間値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [令和4年11月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.007	0.023
	2 (水)	0.010	0.028
	3 (木)	0.006	0.015
	4 (金)	0.009	0.057
	5 (土)	0.006	0.028
	6 (日)	0.004	0.007
	7 (月)	0.009	0.037
	8 (火)	0.019	0.076
	9 (水)	0.012	0.041
	10 (木)	0.018	0.062
	11 (金)	0.011	0.043
	12 (土)	0.013	0.043
	13 (日)	0.005	0.010
	14 (月)	0.005	0.008
	15 (火)	0.018	0.069
別 値	16 (水)	0.007	0.038
	17 (木)	0.022	0.065
	18 (金)	0.025	0.096
	19 (土)	0.014	0.043
	20 (日)	0.004	0.005
	21 (月)	0.013	0.044
	22 (火)	0.024	0.099
	23 (水)	0.006	0.017
	24 (木)	0.006	0.014
	25 (金)	0.016	0.042
	26 (土)	0.027	0.061
	27 (日)	0.005	0.032
	28 (月)	0.031	0.090
	29 (火)	0.059	0.156
	30 (水)	0.006	0.012
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.014	
日平均値の最高値 (ppm)		0.059	
1時間値の最高値 (ppm)		0.156	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和4年11月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.022	0.032
	2 (水)	0.028	0.050
	3 (木)	0.017	0.024
	4 (金)	0.018	0.030
	5 (土)	0.015	0.028
	6 (日)	0.008	0.018
	7 (月)	0.023	0.033
	8 (火)	0.023	0.047
	9 (水)	0.032	0.047
	10 (木)	0.034	0.048
別	11 (金)	0.039	0.063
	12 (土)	0.034	0.059
	13 (日)	0.021	0.034
	14 (月)	0.015	0.027
	15 (火)	0.022	0.032
	16 (水)	0.021	0.043
	17 (木)	0.036	0.049
	18 (金)	0.033	0.054
	19 (土)	0.026	0.038
	20 (日)	0.010	0.026
値	21 (月)	0.026	0.043
	22 (火)	0.025	0.033
	23 (水)	0.020	0.030
	24 (木)	0.017	0.034
	25 (金)	0.030	0.057
	26 (土)	0.038	0.048
	27 (日)	0.010	0.037
	28 (月)	0.036	0.056
	29 (火)	0.033	0.045
	30 (水)	0.017	0.030
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.024	
日平均値の最高値 (ppm)		0.039	
1時間値の最高値 (ppm)		0.063	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和4年11月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (火)	0.029	74.6	0.055
	2 (水)	0.037	74.3	0.066
	3 (木)	0.023	73.9	0.037
	4 (金)	0.027	67.4	0.086
	5 (土)	0.021	69.8	0.056
	6 (日)	0.011	68.9	0.022
	7 (月)	0.032	72.3	0.068
	8 (火)	0.042	54.7	0.115
	9 (水)	0.044	72.5	0.078
	10 (木)	0.052	65.9	0.099
	11 (金)	0.050	78.0	0.080
	12 (土)	0.048	72.1	0.083
	13 (日)	0.026	79.7	0.040
	14 (月)	0.020	76.1	0.035
	15 (火)	0.040	53.8	0.096
別 値	16 (水)	0.028	75.9	0.081
	17 (木)	0.058	61.7	0.095
	18 (金)	0.058	56.4	0.129
	19 (土)	0.041	64.7	0.076
	20 (日)	0.014	72.0	0.030
	21 (月)	0.040	66.2	0.082
	22 (火)	0.049	50.6	0.129
	23 (水)	0.026	75.7	0.047
	24 (木)	0.023	74.2	0.045
	25 (金)	0.046	66.0	0.099
	26 (土)	0.065	57.9	0.098
	27 (日)	0.015	68.6	0.069
	28 (月)	0.067	54.2	0.146
	29 (火)	0.092	35.6	0.198
	30 (水)	0.023	75.5	0.042
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		717		
月平均値 (ppm)		0.038		
日平均値の最高値 (ppm)		0.092		
1時間値の最高値 (ppm)		0.198		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		63.6		

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。
 日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =
 (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /
 (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)
 3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和4年11月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (火)	0.008	0.011
	2 (水)	0.009	0.019
	3 (木)	0.015	0.023
	4 (金)	0.017	0.061
	5 (土)	0.010	0.017
	6 (日)	0.007	0.014
	7 (月)	0.009	0.017
	8 (火)	0.015	0.024
	9 (水)	0.018	0.027
	10 (木)	0.022	0.031
別	11 (金)	0.026	0.040
	12 (土)	0.025	0.038
	13 (日)	0.019	0.037
	14 (月)	0.008	0.011
	15 (火)	0.013	0.020
	16 (水)	0.012	0.020
	17 (木)	0.018	0.027
	18 (金)	0.021	0.033
	19 (土)	0.019	0.027
	20 (日)	0.010	0.023
値	21 (月)	0.009	0.019
	22 (火)	0.018	0.034
	23 (水)	0.014	0.020
	24 (木)	0.008	0.015
	25 (金)	0.014	0.022
	26 (土)	0.021	0.038
	27 (日)	0.016	0.030
	28 (月)	0.017	0.029
	29 (火)	0.019	0.034
	30 (水)	0.007	0.014
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		715	
月平均値 (mg/m ³)		0.015	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.026	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.061	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和4年11月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最 多 風 向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	1.1	1.7	E	ENE
	2 (水)	0.6	1.2	E	ENE
	3 (木)	0.6	1.4	WSW	WSW
	4 (金)	1.0	3.4	W	WSW
	5 (土)	0.7	1.3	W	N
	6 (日)	0.7	1.3	E	E
	7 (月)	0.7	1.7	E	ENE
	8 (火)	0.7	1.6	WSW	WSW
	9 (水)	0.5	1.2	ESE	ESE
	10 (木)	0.6	1.7	WSW	W
別	11 (金)	0.6	1.3	E	WNW
	12 (土)	0.4	1.0	WNW	WNW
	13 (日)	0.6	1.8	SE	N
	14 (月)	0.8	1.2	NW	NW
	15 (火)	1.0	3.2	W	W
	16 (水)	1.1	3.2	W	WNW
	17 (木)	0.5	1.2	ESE	E
	18 (金)	0.5	1.2	E	E
	19 (土)	0.7	2.0	E	E
	20 (日)	1.6	3.1	E	E
値	21 (月)	0.6	1.2	ENE	ENE
	22 (火)	0.9	1.6	SE, ESE, NNE	ESE
	23 (水)	0.9	1.9	WNW	ENE
	24 (木)	(0.9)	(1.4)	(WNW)	(NW)
	25 (金)	—	—	—	—
	26 (土)	—	—	—	—
	27 (日)	—	—	—	—
	28 (月)	—	—	—	—
	29 (火)	—	—	—	—
	30 (水)	(1.3)	(1.6)	(N)	(NNW)
測 定 時 間 (時間)		568			
月 平 均 風 速 (m/s)		0.8			
月 最 大 風 速 (m/s)		3.4			
月 最 多 風 向 (16方位)		NNE			

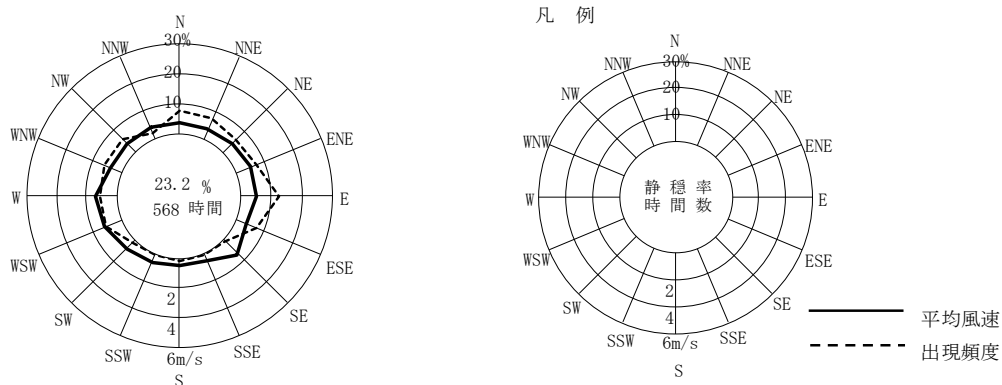
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和4年11月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	43	33	41	70	40	5	2	4	3	6	33	32	35	34	12	43	132	568
頻度 (%)	7.6	5.8	7.2	12.3	7.0	0.9	0.4	0.7	0.5	1.1	5.8	5.6	6.2	6.0	2.1	7.6	23.2	-
平均風速 (m/s)	0.7	0.8	1.0	1.0	0.7	1.3	0.5	0.5	0.6	0.8	1.2	1.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和4年11月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和4年11月分]

調査日：令和4年11月1日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:30	8:11	8:48	8:50	8:25	-	-	
透明度 [m]	2.9	2.8	4.3	2.5	3.5	2.5 ~ 4.3	3.2	
水温 [°C]	21.1 21.3	21.2 21.8	20.5 21.6	21.1 21.6	21.1 21.6	20.5 ~ 21.2 21.3 ~ 21.8	21.0 21.6	
塩分 [-]	31.4 31.9	30.9 32.5	31.7 32.6	30.8 32.5	32.0 32.6	30.8 ~ 32.0 31.9 ~ 32.6	31.4 32.4	
濁度 [度(カリン)]	2 2	2 3	1 5	1 4	1 3	1 ~ 2 2 ~ 5	1 3	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	3 3	4 4	2 4	3 9	2 7	2 ~ 4 3 ~ 9	3 5	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.1 8.1	8.1 8.1	8.2 8.2	8.1 8.2	8.2 8.1	8.1 ~ 8.2 8.1 ~ 8.2	- -	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.2 2.0	2.2 1.7	2.0 2.1	2.5 2.1	2.2 2.1	2.0 ~ 2.5 1.7 ~ 2.1	2.2 2.0	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	6.7 6.0	6.9 6.7	7.5 7.2	7.4 7.3	8.1 7.2	6.7 ~ 8.1 6.0 ~ 7.3	7.3 6.9
	飽和度 [%]	91 82	93 93	101 99	100 100	110 99	91 ~ 110 82 ~ 100	99 95
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.33 0.39	0.35 0.25	0.27 0.21	0.44 0.26	0.33 0.19	0.27 ~ 0.44 0.19 ~ 0.39	0.34 0.26	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.066 0.055	0.055 0.046	0.039 0.037	0.060 0.043	0.042 0.040	0.039 ~ 0.066 0.037 ~ 0.055	0.052 0.044	
クロロフィル a (chl. a) [μ g/L]	2.9 1.7	2.6 1.0	0.4 0.5	3.5 0.7	1.0 0.7	0.4 ~ 3.5 0.5 ~ 1.7	2.1 0.9	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
